

令和 8 年

壱岐市議会定例会 9 月会議

行 政 報 告

壱 岐 市

目 次

1. はじめに	1
（1）長崎県への要望活動	2
（2）全国離島交流中学生野球大会の開催	3
（3）実りの島100%応援事業の開始	4
（4）改正有人国境離島法の成立	5
2. 交流人口の拡大	
（1）神々の島壱岐ウルトラマラソンの開催	5
（2）壱岐市文化協会の設立	6
（3）壱岐の島ホール開館30周年記念事業の開催	7
（4）サンドーム壱岐の活用	7
3. 産業の振興	
（1）農業の振興	8
（2）水産業の振興	9
（3）郷ノ浦港ターミナル臨時駐車場の設置	9
4. 市民生活の維持	
（1）幼保連携型認定こども園の開設	10
5. 教育の推進	
（1）幼稚園の統合	10
（2）こどもたちの活躍	11
6. 安全・安心なまちづくり	
（1）消防・救急の現状	12
7. 議案説明	
（1）補正予算	13
（2）その他の議案	13
8. おわりに	13

行 政 報 告

令和 8 年壱岐市議会定例会 9 月会議

1. はじめに

本日ここに、令和 8 年壱岐市議会定例会 9 月会議にあたり、6 月会議以降、本日までの市の重要事項などについてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、令和 8 年熊本地震の犠牲となられた皆様に対し、心からご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

被災地の状況を受け、本市においては、熊本県八代市へ 8 月 5 日から 8 月 11 日まで保健師 2 名と事務職員 1 名を 1 班として延べ 6 名を派遣し、高齢者世帯への戸別訪問により、被災状況の把握や健康管理、相談支援などに従事しております。

また、日本水道協会長崎県支部から給水車の派遣依頼を受け、8 月 23 日から 29 日までの間、給水車 1 台と職員 4 名を宇城市と八代市へ派遣し、医療施設を中心に応急給水活動を行いました。

さらに、長崎県からの職員派遣要請に応じ、第 4 陣として 8 月 24 日から 9 月 2 日まで熊本県美里町へ 2 名の職員を派遣しております。

今後は、第 6 陣として宇城市へ、第 9 陣として八代市へ派遣し、家屋調査及び罹災証明の発行並びに避難所の運営のほか、避難されている方々への対応など、被災自治体の職員と連携しながら支援にあたることとしております。

また、8 月 3 日から、市役所各庁舎及び社会福祉協議会各事務所

の計 8 か所において災害義援金箱を設置し、市民皆様をはじめ来庁の皆様へ温かいご支援を呼びかけております。

加えて、ふるさと納税による被災地への支援として、八代市及び宇城市への代理寄附を、8 月 7 日から一部ポータルサイトで開始しております。

代理寄附は、被災地に代わり壱岐市が代理でふるさと納税を受け、指定する自治体に寄附金をお届けする制度であり、被災地に対する寄附金による支援に加えて、寄附受領書発行などの事務軽減にもつながるものです。

この他、住居が損壊するなど、居住継続が困難となった方々への支援として、本市の公営住宅への一時的な入居を無償で提供するとともに、生活に必要な洗濯機や冷蔵庫、空調機器などの無償貸与についても、現在、ホームページなどを通じて広く周知を行っているところです。

今回の熊本地震では、多くの皆様が家族や友人、そして財産を失い、いまだ厳しい避難生活を強いられています。本市としては、「九州は一つ」の思いのもと、今後も被災地への復興支援を続けてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、本日までの市政の重要事項などについて、ご報告いたします。

(1) 長崎県への要望活動

8 月 18 日に長崎県並びに長崎県議会へ、壱岐市の単独要望を行いました。中尾副知事をはじめ幹部職員、そして県議会では 江副議長にご対応いただいたところです。

本市からは鶴瀬県議会議員並びに壱岐市議会を代表して土谷議長にもご同席いただき、１５項目の要望書を提出いたしました。

本年度の要望のうち、今回は重点要望項目として「壱岐空港の整備に向けた検討」、「離島航路における安定的な船員確保対策」及び「郷ノ浦港ターミナル周辺の混雑対策」の３項目について、ご説明申し上げました。

中尾副知事からは、「空港の整備については国の支援が不可欠な状況の中で、国の採択条件である滑走路延長が必要となる機材の就航の見込みや、航空会社における具体的な計画などの情報について市と共有を図り、滑走路端安全区域（ＲＥＳＡ）の着実な進行と合わせて安全性を確保しながら、離島における貴重な交通手段である航空路の維持のため、引き続き検討を行っていく」旨のご回答をいただきました。

また、ターミナルビルの建て替えに対する財政的支援につきましても、「他県の事例なども参考に国とも意見交換をしながら、どういった方策があるのか、壱岐市と意見交換をしていきたい」とのご回答をいただいたところです。

この他の要望項目も、本市にとって極めて重要な事項であり、ご理解をいただくよう引き続き協議を重ね、県との連携を密にし、本市の振興発展に全力で取り組んでまいります。

（２）全国離島交流中学生野球大会の開催

「国土交通大臣杯第１７回全国離島交流中学生野球大会」、通称「離島甲子園」が、８月１７日から２０日にかけて、島根県隠岐の

島町で開催されました。

今大会には、全国の離島から22チームが参加し、本市からも選手18名に、監督・コーチ・審判員を加えた合計21名で結成された選抜チームが参加しました。

壱岐市選抜チームは、ピッチャーを中心とした堅い守りと力強い打撃で、チーム一丸となって勝ち進み、決勝戦では「対馬ヤマネコボーイズ」と対戦しました。

大観衆の声援の中、両チームが実力を十二分に発揮する好ゲームを展開し、4対1で見事競り勝ち、令和5年の第14回大会以来、3年ぶり4度目の優勝を飾りました。今回の優勝で、通算の優勝回数も全チーム中最多となり、近年目覚ましい活躍を見せている本市の中学生軟式野球のレベルの高さを証明してくれました。

（３）実りの島１００％応援事業の開始

ふるさと納税のさらなる推進を図るため、新たなふるさと産品の創出をはじめ、既存産品の改良や増産などに取り組む事業者に対する支援である「実りの島１００％応援事業」を、１０月の制度改正に合わせて寄附募集の開始ができるよう、公募の受付を始めました。本年度は一次産業に関わる返礼品事業者を応援する形で取り組むこととしています。

本事業は、返礼品事業者の設備投資などを支援する制度であり、その補助金の原資をふるさと納税で調達するものです。補助金は、対象事業者自身が提供する返礼品で集めることとなり、寄附者の希望を尊重する形で支援いたします。

本事業は、ふるさと納税の返礼品などの充実はもとより、一次産業を中心とした各産業の振興につながるものと期待しています。

（４）改正有人国境離島法の成立

７月８日に改正有人国境離島法が成立し、法期限が令和１９年３月まで延長されることとなりました。

本市においては、昨年１１月に同法の改正・延長を求める総決起大会を開催し、多くの市民の皆様にご参加をいただきました。市民の想いが一つになり、改正・延長の実現を強く訴えた結果が、改正法の成立につながったと考えております。市民皆様をはじめ、改正・延長の実現に向けて、ご尽力を賜りました全ての皆様に、心から感謝を申し上げます。

今後は、令和９年４月からの改正法の施行という新たなスタートに向けた準備が必要となってまいります。引き続き、法の趣旨を踏まえ、市民皆様が「しま」に住み続け、安心して生活できる環境づくりを進めていけるよう、国の交付金などを最大限に活用するとともに、国に対して交付金をはじめとする支援制度の拡充や予算の確実な確保を要望してまいります。

２．交流人口の拡大

（１）神々の島壱岐ウルトラマラソンの開催

「神々の島壱岐ウルトラマラソン２０２６」の申込みは、７月１９日に受付を締め切り、北は北海道から南は沖縄までの３９都道府県から、また海外からの２か国３名のエントリーを含む、１００Ｋｍ６２８名、

50Km317名、計945名のエントリーをいただきました。過去最多のエントリー数でありました昨年度より、さらに67名多いエントリー数となっております。

このことは、これまでの大会における市民皆様のご協力や沿道での温かいご声援などの「おもてなし」による大会運営の成果であると考えております。

本年度も市全体で大会をさらに盛り上げるため、これまでの大会同様、小学生の皆さんには、参加選手への手紙と応援のぼりの製作をお願いし、また中学生・高校生の皆さんには給水所運営、そのほか消防団をはじめとした各種団体の皆様へも、大会でのご協力をお願いしております。

そして、本大会にも多くのご協賛を賜り、特別協賛・プレミアムスポンサーとして株式会社ファウンテック様から1,000万円、プラチナスポンサーとして九州郵船株式会社様から500万円、一般協賛で島内外の多くの企業様からご支援をいただいております、改めて感謝を申し上げます。

本大会は、壱岐全島を舞台とした一大イベントでありますので、市民皆様をはじめ関係機関、団体皆様の引き続きのご理解、ご協力をお願いいたします。

（２）壱岐市文化協会の設立

昨年開催された「ながさきピース文化祭2025」を契機として、壱岐市のさらなる文化振興を図り、伝統文化を次の世代へしっかりと継承していくため、市内文化団体の統合が進められ、8月1日、「壱

岐市文化協会」が新たに設立されました。

壱岐市文化協会は、「舞踊」、「邦楽」、「合唱・洋楽」、「文芸」、「美術」、「伝統」の6つの専門部会で構成され、全41団体510名が会員登録されています。

今後、同協会が壱岐の文化をさらに輝かせるための「協働の場」として機能し、分野や世代を越えて会員皆様がつながり、互いの活動を尊重しながら、本市の文化を未来へつないでいく活動が展開されることを期待しております。

（３）壱岐の島ホール開館３０周年記念事業の開催

本年度の壱岐の島ホール開館３０周年記念事業として、６月に開催した ^{すずき まなみ} 鈴木 愛美 様のピアノリサイタルに続き、「いきいき爆笑寄席」が、エンゲージメントパートナーであるFBS福岡放送局並びにNIB長崎国際テレビの主催により、１１月４日午後２時から壱岐の島ホール大ホールにて開催されます。

出演は、落語家の ^{さんゆうてい えん か} 三遊亭 圓歌 師匠、林家 ^{はやしや} たい平 師匠、三遊亭 ^{けんこう} 兼好 師匠、三遊亭 ^{まんきつ} 萬橘 師匠の４名の予定であり、チケットは壱岐の島ホール事務所でも販売を行っておりますので、壱岐ではなかなかお目にかかれない特別な落語会を、ぜひご体験ください。

（４）サンドーム壱岐の活用

遊休施設となっているサンドーム壱岐につきましては、今年度に入り、公募型プロポーザルを実施し、現在、貸付候補者と契約締結に向けた準備を行っているところです。

サンドーム壱岐は、不動産鑑定士による建物の鑑定評価額が０円

であることに加え、土地も建物周辺に限っていることから、貸付料を無償としております。今回、サンドーム壱岐の無償貸付に関する議案を提出しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

３．産業の振興

（１）農業の振興

梅雨明け以降、まとまった降雨がなく、普通期水稻については、9月上旬にかけて最も水を必要とする時期のため、このまま少雨傾向が続くと、減収や品質低下が懸念されますので、引き続き適切な栽培管理が必要となっております。

また、水道用ダムの貯水率も低下しておりますので、市民皆様におかれましては、節水にご協力賜りますようお願い申し上げます。

次に、本市の基幹作目である肉用牛については、7月11日に佐世保食肉センターで開催された「第32回長崎和牛系統枝肉共励会」において、壱岐産素牛での出品購買者がグランドチャンピオン、金賞及び銅賞を、また、7月15日に福岡食肉市場で開催された「第13回JAさが肥育牛部会枝肉共励会」においても、最優秀賞を受賞されました。これらのことは、壱岐牛の名声をさらに高められた結果となり、大変喜ばしく思っております。

また、8月に開催された子牛セリ市では、前回6月の平均価格と比較し103%、2万6千円高の86万8千円となっており、高値を維持しています。本市としましては、引き続き優良系統牛への更新及び増頭対策など、国、県の各種施策を積極的に活用しながら支

援してまいります。

農地・農業用施設等災害については、令和7年災の157地区を本年度に繰り越しましたが、工事の進捗率は約90%で、完成に向けて進めております。

また、6月の梅雨前線豪雨により発生した国庫補助対象の農地・農業用施設等災害についても早期復旧に向け、今回所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

（２）水産業の振興

4月から7月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年同期と比較いたしますと、漁獲量は27%減の約667トン、漁獲高は5%減の約12億2千万円と、ともに減少しております。これは春のスルメイカの不漁が大きく影響しておりますが、5月からの大型クロマグロは昨年同程度の230トン漁獲されております。

しかしながら、漁協によっては早々に大型クロマグロの漁獲枠のほぼ上限に達し、漁獲できない状況が続いておりますので、昨年までに引き続き、県並びに県議会への要望の中で、クロマグロなどの漁獲枠の拡大について要望したところです。

（３）郷ノ浦港ターミナル臨時駐車場の設置

郷ノ浦港ターミナル周辺は慢性的に混雑しており、管理者である県に対策の検討を求めているところです。しかしながら、混雑の改善は喫緊の課題であるため、早期改善措置を取るべく県と交渉し、ジェットfoil乗場手前の緑地スペースを、お盆前後の期間限定で臨時駐車場として活用するよう申請を行い、設置しました。

また、中・長期的には郷ノ浦港ターミナル周辺の全体的な駐車場の再編整備の実施が必要であると考えておりますので、継続的に県と連携し、郷ノ浦港の利用環境改善に全力で取り組んでまいります。

4. 市民生活の維持

(1) 幼保連携型認定こども園の開設

勝本町における認定こども園の開設については、8月5日に保護者等の皆様に向けた説明会を開催し、これまでの経過を踏まえた概要説明及び認定こども園開設にあたってのご説明を申し上げたところです。皆様からいただいたご意見を参考に、令和9年4月の開設に向け、県への申請手続きを含め、引き続き取り組みを進めてまいります。

また、教育委員会において、田河幼稚園と那賀幼稚園の統合に向けた取り組みを進めており、統合後の園では令和9年4月から土曜日の預かり保育の実施及び給食の提供を行う予定であり、今回、石田こども園から給食を提供するための予算を計上しておりますので、ご審議を賜りますようお願いいたします。

5. 教育の推進

(1) 幼稚園の統合

本市の幼稚園につきましては、進行する少子化の中、一定数の園児数を確保することにより、教育環境を維持・充実することが重要な課題となっております。

そこで、今年度は芦辺町において、園児数やこれまで保護者皆様

からいただいたご意見を参考に、田河幼稚園と那賀幼稚園を統合し、那賀幼稚園の園舎を活用することが、安定した幼児教育を提供するうえで適切と判断し、令和9年4月の統合に向けた準備を進めているところです。

また、こども園開設の準備を進めている勝本町においても、鯨伏幼稚園の今後について、地元と協議しております。さらに、8月から幼児教育の充実のため、郷ノ浦幼稚園に米国からの外国語教育助手（ALT）を1名配置しております。

（２）こどもたちの活躍

本年もスポーツにおけるこどもたちの活躍はめざましく、各競技において、九州大会及び全国大会に出場しています。

7月に開催された「長崎県中学校総合体育大会」では、1,500m走1年男子の部で、郷ノ浦中学校の西^{にし} 紘太^{げんた}さんが優勝、同種目3年男子の部で、芦辺中学校の^{ながしま} 長嶋^{ゆうが} 優雅さんが同じく優勝、相撲競技団体の部では、芦辺中学校相撲部が準優勝に輝き、それぞれ九州大会へ出場しています。

続く8月に佐賀県で開催された「九州中学校体育大会」においても、西 紘太さんが1,500m走1年男子の部で優勝の栄誉に輝くなど、長崎県の代表としてその力を存分に発揮してくれました。

中学生男子ソフトボールでは、クラブチームの壱岐ブレイブスが8月に福岡県で開催された「第26回全日本中学生男子ソフトボール大会」に長崎県代表として出場し、第3位に輝きました。

また、壱岐高校3年の^{ながた} 永田^{なおと} 直大さんが、6月に開催された「全九州

高等学校体育大会」陸上八種競技に出場し、第3位の好成績を収めるとともに、8月に滋賀県で開催された「全国高等学校総合体育大会」への出場権を獲得され、全国大会においても健闘しております。

このように、本市のこどもたちの活躍を大変うれしく頼もしく思いますとともに、今後の壱岐市のこどもたちのさらなる活躍を期待しております。

6. 安全・安心なまちづくり

(1) 消防・救急の現状

8月2日に大村市で開催された「第39回長崎県消防ポンプ操法大会」において、ポンプ車操法の部に出場した芦辺地区第1分団が第3位、小型ポンプ操法の部に出場した第6分団が敢闘賞の成績を収めました。両分団の団員皆様、関係者皆様の長期に渡る訓練に心から敬意を表しますとともに、これまでご声援いただきました市民皆様、ご理解とご協力をいただきました職場の皆様、そしてご家族の方々に厚くお礼を申し上げます。

これから農繁期を迎えるにあたり、野焼き、しくり焼きによる火災が毎年、発生しております。草木を焼却する場合は、必ず消防署に届出を行い、周囲の燃えやすい物と安全な距離を保ち、焼却中はその場を離れずに、確実に消火を確認いただくなど、火の取扱いには十分注意していただきますようお願いいたします。

7. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算

本議会に提出した令和8年度補正予算の概要は、一般会計補正額2億1,994万9千円、特別会計の補正総額9,490万2千円となり、本定例会に提出いたしました一般会計、特別会計の補正額の合計は3億1,485万1千円となります。

なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、252億4,897万4千円で、特別会計については、79億3,928万4千円となっております。

(2) その他の議案

本日提出いたしました案件の概要は、令和7年度各出資法人の経営状況等に係る報告5件、令和7年度財政健全化判断比率等の報告1件、条例の一部改正に係る案件5件、普通財産の貸付に係る案件2件、あらたに生じた土地の確認等の案件1件、契約の締結に係る案件2件、予算案件3件、令和7年度各会計決算認定8件となっております。

何とぞ慎重にご審議をいただき、適正なるご決定を賜りますようお願いいたします。

8. おわりに

以上をもちまして、6月会議以降の市の重要事項などについてご報告いたしましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに市民皆様のご理解

とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年9月2日

壱岐市長 篠 原 一 生